

Aqua Wood 開発ストーリー

弊社はこれまでテレビ台・AVラック・ソファ・ダイニングテーブルとあらゆる商品をつくり、OEM供給として又自社ブランドとして様々なチャンネルに対して供給を行い、素材の提案はAQUA WOODが初めての試みとなります。

商品供給から素材供給へ

コモディティな現代、自社ブランド・OEM商品と様々な商品作りにおいてデザイン性、意匠性の違いを、一つの差別化の要素として、弊社の得意とする素材（木材・硝子・金属・アクリル）をさまざまな加工融合させ（素材開発から）家具等の開発を行なって参りました。

この様な加工・開発素材は、あくまでも自社ブランド商品及びOEM供給商品のみの意匠性という、小さな枠組みとして使用するのみで、

当初、アクアウッドも例外なく自社ブランド商品の枠組みの中の、差別化される意匠性として使われる運命でした。しかし当素材を利用した商品を販売する中、弊社に寄せられた様々な要望、お問い合わせを通して、その意匠性、汎用性の高さを実感致しました。こうした経緯により、2010年、AQUA WOODを素材として市場へ投入することに致しました。

お客様のクリエイティブワークにAQUA WOODが「創造素材」としてお役に立てることを心より願っております。

開発担当者から

- アクアウッドはアクリルと木材の組み合わせは性格が異なる素材の為、非常に困難でした。
- アクリル素材は透過性の面を強調されがちであるが、埃を引き寄せる静電体質の為、接着させる際の配慮が必要でした。
- 木材は水分吸収により導管の膨張収縮が起ります。また、アクリルも水分により同じように膨張収縮が発生しますが、それが多方向へ発生するといったアクリルと木材の膨張収縮方向の違いに悩まされました。
- アクアウッドは上記した緊張状態がつづいており、それを吸収する「柔軟かつ強靱な接着剤と素材管理」が必要とされ、開発現場は困難の連続でした。
- アクリル素材は熱に対して弱く、また溶剤に対しての弱さがあり、微量の溶剤でもクラックが発生するなど、七転八倒な開発でした。

こうした開発を経て、様々な使用用途を確保する為、屋内素材では異例で非常に過酷な屋外曝露試験を半年間と設定し、信頼性、汎用性、意匠性、安全性の様々な要求をクリアした、JIS規格以上の過酷な試験に耐える恒久的な意匠性素材の開発に成功致しました。

製品の注意点

■注意事項

- 水周り、屋外、高温多湿となる場所での使用はお避けください。
- 木質特性、色木目が異なります。また使用環境や時間の経過により色合いが変化する場合がございますがご理解ください
- 製品については万全を期しておりますが、使用環境による問題発生に関して責任を負いかねます。加工後、施工後の返品はお受け致しかねますので、入荷時にご確認下さい。
- 木部素材に関してフィンガージョイント部分がスリット表面に不規則に発生します。
- アクリルの透明度に関しては、バフ研磨による磨きムラ、木部との接合による歪が若干発生します。
- 加工は一般的なアクリル加工方法で行なえます。（穴あけ・せん断）
- 製品出荷時の表面処理はバフ研磨を基本とし、塗装処理は行いません。またアクリル素材の特性上溶剤系の塗料接着剤のご使用になれませんのでご注意ください。水性系のワックス及び水性系の塗料をご使用下さい。（詳しくは扱われる塗料メーカーにお問い合わせ下さい。）
- その他注意事項は取扱い説明書を遵守ください。

AQUA
WOOD
Hybrid wooden material
ASAHI WOOD PROCESSING CO.,LTD

AQUA
WOOD
Hybrid wooden material
ASAHI WOOD PROCESSING CO.,LTD

お問い合わせ・資料請求は

0532-53-3338

受付時間 / 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

AQUA WOOD 事業

ホームページ・メールアドレス・FAX

www.asahiwood.co.jp

aquawood@asahiwood.co.jp

FAX 0532-52-7468



製造元 朝日木材加工株式会社 愛知県豊橋市北島町字北島 87 番地

掲載情報は2019年7月時点での情報です。予告なしに変更する場合がございます。

※(AQUA WOOD) (アクアウッド) は朝日木材加工株式会社の商標です。